2025年度

総合型選抜
募集要項

［Ⅰ期・Ⅱ期］

宮城学院女子大学

Contents

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）…… P01-03
募集定員、試験日程 …… P04
出願資格、出願期間、出願書類、入学検定料、受験票について、選考日程 …… P05
選考方法（提出課題の内容及び作成方法、総合型選抜の評価のポイント）…… P06-09
受験上の注意、合格発表、入学手続…… P09
インターネット出願の流れ …… P10-11
ウェブ合格発表の利用方法 …… P12
音楽科専門試験要項…… P13-19
その他 …… P20-21

学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項

選考日当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（新型コロナウイルス、インフルエンザ、麻疹等）にり患し治癒していない場合は、他の受験生や監督者等への感染の恐れがあります。該当する症状がある場合は、必ず入試広報課までご連絡ください。

《お知らせ》学業特待生の選抜対象について

総合型選抜・学校推薦型選抜合格者が大学入学共通テストを受験し、所定の成績をおさめた場合に学業特待生候補者の対象とします。その場合は、当該学科への合格を確保したものとし、別途審査料を支払って、特待生申請手続きをしていただきます。
なお、大学入学共通テストでは、本学の大学入学共通テスト利用選抜（A日程）において入学予定の学科が指定している科目を満たすよう受験してください。
また、特待生枠には限りがありますので、申請をしても必ずしも認められるわけではありません。
申請手続き方法・申請書類などの詳細は、12月上旬に本学ウェブサイトに掲載する予定です。

宮城学院女子大学　共生のための多様性宣言

宮城学院女子大学は、本学に集うすべての学生の多様性と尊厳・人権を尊重します。
年齢、信条、障害、エスニシティ、性的指向・性自認など、個人の特性や文化的背景を尊重し、そのための環境づくりに最善を尽くします。

本学では、2021年度より、本学で学ぶことを希望するトランス女性（戸籍上男性であっても性自認が女性である方）の受け入れを行っています。
受験時に配慮が必要な場合には本冊子のP20を確認し、事前にご相談ください。
また、入学後に合理的配慮が必要な場合には、入学前（3月後半）に学生相談・特別支援センターに相談することができます。

「共生のための多様性宣言」詳細はこちら

学生相談・特別支援センターの詳細はこちら

宮城学院女子大学では、本学で勉学することを強く希望する方を対象に、総合型選抜を実施します。

この選抜では、本学及び各学科のアドミッション・ポリシーをよく理解し、学科が求める学生像に当てはまる方、自己表現力やコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力に秀でた方、高等学校でのクラブ活動やボランティア活動、その他の社会的活動に積極的に取り組み、学科での学びを活性化しうる方を求めます。

本学のアドミッション・ポリシーと各学科が求める学生像を十分に理解した上で、出願してください。

宮城学院女子大学　アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

宮城学院女子大学では、次のような能力、意欲、目的意識などをもつ者を広く受け入れる。

1. 能力　「国語」、「英語」またはそれに準ずる科目・分野において、基礎的な読解力と表現力を身につけている。
世の中の出来事について、情報を収集し、考察し、説明する基礎的な能力を身につけている。
2. 意欲　人間および人間集団の多様性を理解しており、共生の在り方を模索する意欲を持っている。
それぞれの学科・専攻における専門分野に関して、興味や関心、学習意欲を持っている。
3. 目的意識　本学の教育方針を理解しており、本学でキャリア形成を含む自己実現を目指すことを強く希望している。
女性の生き方に対する強い関心と問題意識を持っている。
それぞれの学科・専攻の学びを生かして、社会貢献あるいは自己実現を果たすことを目指している。

現代ビジネス学部

◆現代ビジネス学科◆

1. 能力　「国語」、「英語」またはそれに準ずる科目・分野において、基礎的な読解力と表現力を身につけている。
世の中の出来事について、情報を収集し、考察し、説明する基礎的な能力を身につけている。
2. 意欲　人間および人間集団の多様性を理解しており、共生の在り方を模索する意欲を持っている。
ビジネス・パーソンとして活躍する希望を抱き、そのために必要なビジネス学の専門知識と知的能力を身につける学習意欲を有している。
本学科が推進するプロジェクト型学習の理念を理解し、理論学習にとどまらない実践的な活動に取り組む積極的な姿勢を有している。
3. 目的意識　本学の教育方針を理解しており、本学でキャリア形成を含む自己実現を目指すことを強く希望している。
女性の生き方に対する強い関心と問題意識を持っている。
急激に変化する現代社会の諸問題を自らの課題と受け止め、大学での学びを通して問題解決に向けて取り組む意識を有している。

＜総合型選抜で求める学生像＞

- 企業、自治体、NPOなどの一員として、また自らの起業を通じて、地域経済に貢献したいと考えている方
- ビジネスのマネジメント（経営管理、マーケティング、会計学、経営情報など）を学ぶ意欲を持っている方
- 観光、地域振興、多文化共生など、国際化が進む社会で求められる専門知識を得たいと考えている方

教育学部

◆教育学科　幼児教育専攻◆

1. 能力　「国語」、「英語」またはそれに準ずる科目・分野において、基礎的な読解力と表現力を身につけている。
世の中の出来事について、情報を収集し、考察し、説明する基礎的な能力を身につけている。
2. 意欲　人間および人間集団の多様性を理解しており、共生の在り方を模索する意欲を持っている。
教育や保育に関連する専門的な学びに対する強い興味と関心、意欲を有していること。
3. 目的意識　本学の教育方針を理解しており、本学でキャリア形成を含む自己実現を目指すことを強く希望している。
女性の生き方に対する強い関心と問題意識を持っている。
保育・幼児教育の専門性を高め、幼稚園教諭一種免許状と保育士資格の取得を目指している。
認定心理士と社会福祉士の資格取得することと同時に、子どもの心と心の発達の理解、支援の方法を学ぶ明確な目的意識を有している。

◆教育学科　児童教育専攻◆

1. 能力　「国語」、「英語」またはそれに準ずる科目・分野において、基礎的な読解力と表現力を身につけている。
世の中の出来事について、情報を収集し、考察し、説明する基礎的な能力を身につけている。
幅広い教養と教科に関する高い専門性を修めるための基礎的学力をもっている。
2. 意欲　人間および人間集団の多様性を理解しており、共生の在り方を模索する意欲を持っている。
子どもの人格形成に影響を及ぼす教育という営みを探求することに強い関心を持っている。
子どもが主体的・協働的に学ぶ授業を展開できる実践的指導力を身につけようとする意欲を持っている。
3. 目的意識　本学の教育方針を理解しており、本学でキャリア形成を含む自己実現を目指すことを強く希望している。
女性の生き方に対する強い関心と問題意識を持っている。
教育のスペシャリストを目指そうとする目的意識を持っている。

◆教育学科　健康教育専攻◆

1. 能力　「国語」、「英語」またはそれに準ずる科目・分野において、基礎的な読解力と表現力を身につけている。
世の中の出来事について、情報を収集し、考察し、説明する基礎的な能力を身につけている。
2. 意欲　人間および人間集団の多様性を理解しており、共生の在り方を模索する意欲を持っている。
今日の子どもたちの抱える多様な健康問題に取り組み、子どもたちの健やかな成長と発達に寄り添っていくという意欲と情熱を持っている。
3. 目的意識　本学の教育方針を理解しており、本学でキャリア形成を含む自己実現を目指すことを強く希望している。
女性の生き方に対する強い関心と問題意識を持っている。
「教育」という、人間の成長発達を支える営みとそれに関わる仕事に強い関心を持っている。

＜総合型選抜で求める学生像＞

- 将来、学校教育や児童福祉の分野で地域に貢献することを目指している方
- 人にかかわることが好きで、子どもたちの心身の発達と成長に関心を持っている方
- 子どもに関する分野を専門的に学んでみたい方

生活科学部

◆食品栄養学科◆

1. 能力　「国語」、「英語」またはそれに準ずる科目・分野において、基礎的な読解力と表現力を身につけている。
世の中の出来事について、情報を収集し、考察し、説明する基礎的な能力を身につけている。
科学に興味を有し、化学と生物についての基礎的な知識を有している。
2. 意欲　人間および人間集団の多様性を理解しており、共生の在り方を模索する意欲を持っている。
食と健康への関心が高く、広範な食と人に関する強い学びの意欲を持っている。
3. 目的意識　本学の教育方針を理解しており、本学でキャリア形成を含む自己実現を目指すことを強く希望している。
女性の生き方に対する強い関心と問題意識を持っている。
栄養・食生活を核としたコミュニケーションを通して、人々の健康と幸福に寄与する仕事につきたいとの目的意識を有している。

＜総合型選抜で求める学生像＞

- 管理栄養士や栄養教諭になろうという強い意思を持っている方
- 栄養・食生活を通して人々の健康と幸福に寄与したいという熱意を有している方
- 栄養・食生活に関わる社会的課題を解決する能力を身につけたいと考えている方

食品栄養学科においては、特に化学や生物の基礎的内容を理解しておくことが望ましい。

◆生活文化デザイン学科◆

1. 能力　「国語」、「英語」またはそれに準ずる科目・分野において、基礎的な読解力と表現力を身につけている。
世の中の出来事について、情報を収集し、考察し、説明する基礎的な能力を身につけている。
2. 意欲　人間および人間集団の多様性を理解しており、共生の在り方を模索する意欲を持っている。
生活文化・地域社会、住居・インテリアデザイン、および、建築・まちづくりなどに対する関心と問題意識を有している。
3. 目的意識　本学の教育方針を理解しており、本学でキャリア形成を含む自己実現を目指すことを強く希望している。
女性の生き方に対する強い関心と問題意識を持っている。
家庭科教員、学芸員、建築士、インテリアデザイナー、まちづくりの専門家等として社会に貢献することを目指している。

＜総合型選抜で求める学生像＞

- 教員、建築士、公務員、企業における生活に関わるデザイン、知識、情報、サービス等を提供する仕事を目指している方
- 生活について幅広い関心を持ち、特に女性・家族と社会・生活経済・服飾・建築・インテリア・まちづくりなどの分野のいずれかを深く学びたい方
- 生活を多面的にとらえ総合的に考える力、上記いずれかの分野の専門知識と、提案力=デザイン力を身につけたい方

学芸学部

◆日本文学科◆

1. 能力　「国語」、「英語」またはそれに準ずる科目・分野において、基礎的な読解力と表現力を身につけている。
世の中の出来事について、情報を収集し、考察し、説明する基礎的な能力を身につけている。
現代まで受け継がれてきた日本のことばと文化、特に伝統的な言語文化について、基礎的な知識と読解力を有している。
2. 意欲　人間および人間集団の多様性を理解しており、共生の在り方を模索する意欲を持っている。
「国語」に関心がある。読書を好み、文章を書くことに興味がある。適切で的確な日本語運用能力を身につける意欲がある。
日本語や文学・演劇・映画等、日本のことばと文化に興味を持ち、これらに関する専門的で体系的な知識を修得する意欲がある。
3. 目的意識　本学の教育方針を理解しており、本学でキャリア形成を含む自己実現を目指すことを強く希望している。
女性の生き方に対する強い関心と問題意識を持っている。
国語科教員・日本語教師・記者・編集者・司書・学芸員等、日本のことばと文化に関する専門性を活かした職業に就き、社会の発展と文化の向上に貢献する意欲がある。

＜総合型選抜で求める学生像＞

- 中高国語科教員、日本語教員など、日本のことばと文化に関する専門職を目指している方
- 日本語、日本文学、日本文化、あるいは日本人の思想・価値観・美意識などに強い関心があり、専門的で体系的な知識を修得したいと考えている方
- 1年に本を10冊以上読破する習慣があり、さらに読み・書き・話し・聞くことに関して適切で的確な日本語運用能力を身につけたいと考えている方

◆英文学科◆

1. 能力　「国語」、「英語」またはそれに準ずる科目・分野において、基礎的な読解力と表現力を身につけている。
世の中の出来事について、情報を収集し、考察し、説明する基礎的な能力を身につけている。
2. 意欲　人間および人間集団の多様性を理解しており、共生の在り方を模索する意欲を持っている。
英語に対する強い関心と興味を持ち、英語でコミュニケーションを図ろうとする意欲があり、英語運用能力を高めたいと考えている。
3. 目的意識　本学の教育方針を理解しており、本学でキャリア形成を含む自己実現を目指すことを強く希望している。
女性の生き方に対する強い関心と問題意識を持っている。
英語学や英米文学・文化を専門的に学ぶことにより、国際社会で必要とされる客観的かつ複眼的な視点を身につけたいと考えている。
自分の考えを英語で発信しながら自分と異なる価値観を持つ人と積極的に交流し、日本と外国との架け橋になることを目指している。

＜総合型選抜で求める学生像＞

- 英語圏の言語・文学・文化に対し強い探究心を持っている方
- 高度な英語運用能力を身につけ、幅広い視野をもって、社会でリーダーシップを発揮したいと考えている方
- 様々な分野で、日本と海外をつなぐ職業に就きたいと考えている方

英文学科においては、英検2級程度の英語能力を有していることが望ましい。

学芸学部

◆人間文化学科◆

1. 能力　「国語」、「英語」またはそれに準ずる科目・分野において、基礎的な読解力と表現力を身につけている。
世の中の出来事について、情報を収集し、考察し、説明する基礎的な能力を身につけている。
2. 意欲　人間および人間集団の多様性を理解しており、共生の在り方を模索する意欲を持っている。
日本、またはアジア、ヨーロッパの過去、または現在の文化、社会などを学ぶことに強い意欲を持つ。
国際舞台で活躍したり、教員や学芸員といった専門職に必要な知識・技能等を獲得する学びに積極的に取り組む意欲を持つ。
3. 目的意識　本学の教育方針を理解しており、本学でキャリア形成を含む自己実現を目指すことを強く希望している。
女性の生き方に対する強い関心と問題意識を持っている。
問題を発見し解決する能力、情報発信力、コミュニケーション能力を身につけることを強く希望する。

＜総合型選抜で求める学生像＞

- 教員や学芸員になりたい、国際舞台で活躍したいという意欲を持っている方
- 日本やアジア、ヨーロッパなど世界の歴史・文化・社会に強い探究心を持っている方
- 問題を発見して解決する能力、情報を発信する能力、コミュニケーション能力を身につけたいと考えている方

◆心理行動科学科◆

1. 能力　「国語」、「英語」またはそれに準ずる科目・分野において、基礎的な読解力と表現力を身につけている。
世の中の出来事について、情報を収集し、考察し、説明する基礎的な能力を身につけている。
文章を読み解くことおよびデータを読み取ることについて、基本的な能力を持っている。
2. 意欲　人間および人間集団の多様性を理解しており、共生の在り方を模索する意欲を持っている。
積極的にコミュニケーションをとろうとする姿勢を持っている。
人間の心や行動に関心を持ち、それらを客観的に考える力、的確に表現する力を獲得する意欲がある。
3. 目的意識　本学の教育方針を理解しており、本学でキャリア形成を含む自己実現を目指すことを強く希望している。
女性の生き方に対する強い関心と問題意識を持っている。
実証と実践に重点を置いて心理学を学び、自ら積極的に知識や経験を積み上げようとする目的意識を持っている。

＜総合型選抜で求める学生像＞

- スポーツ、芸術、経済・経営活動、生徒会役員などの活動などに打ち込んだ経験あるいは一定の実績を持つ方
- 人間の心理や行動について、自分の経験を通した興味や疑問をもつ方
- 実践を重視した学修成果を社会の中で役立たせたい方、心理学の専門職に就きたいと考えている方

心理行動科学科へ出願する場合は、P7～8にある当該学科が求める要件に当てはまることを必ず確認すること。

◆音楽科◆

1. 能力　「国語」、「英語」またはそれに準ずる科目・分野において、基礎的な読解力と表現力を身につけている。
世の中の出来事について、情報を収集し、考察し、説明する基礎的な能力を身につけている。
演奏や作曲の技能向上に向けて、継続的な練習に取り組むことができる。
2. 意欲　人間および人間集団の多様性を理解しており、共生の在り方を模索する意欲を持っている。
音楽の実践的・理論的基礎の習得に、体系的に取り組む意欲を持っている。
3. 目的意識　本学の教育方針を理解しており、本学でキャリア形成を含む自己実現を目指すことを強く希望している。
女性の生き方に対する強い関心と問題意識を持っている。
学びの中で得た知識や技術、社会性を活かせる仕事に就きたいと考えている。

＜総合型選抜で求める学生像＞

- 演奏家になろうという強い意欲を持っている方
- 中学校・高等学校の音楽の教員になろうという強い意欲を持っている方
- 音楽教室の指導者など、音楽についての技術・知識を活かせる仕事に就きたいと考えている方

音楽科においては、基礎的な楽典の知識と視唱・聴音の能力を身につけていることが望ましい。

募集定員

区分	現代ビジネス学部	教育学部教育学科			生活科学部		学芸学部				
	現代ビジネス学科	幼児教育専攻	児童教育専攻	健康教育専攻	食品栄養学科	生活文化デザイン学科	日本文学科	英文学科	人間文化学科	心理行動科学科	音楽科※
Ⅰ期	15名	15名	5名	5名	15名	10名	18名	5名	5名	15名	5名
Ⅱ期	2名	2名	1名	1名	2名	2名	2名	2名	1名	2名	1名

※音楽科は器楽コース（ピアノ、オルガン、ヴァイオリン・ヴィオラ、チェロ、コントラバス、フルート、オーボエ、クラリネット、サクソフォーン、ファゴット、ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、打楽器）、声楽コース、作曲コースがあります。

選考の結果、学力等が本学の求める水準に満たないと判断される場合、合格者数が各入学者選抜区分の募集人員を下回る場合があります。

試験日程

	出願期間	選考日	合格発表日	入学手続期間
Ⅰ期	2024年9月26日(木)～10月3日(木)必着	10月26日(土)※～10月27日(日)	11月 1日(金)	11月 5日(火)～11月15日(金)
Ⅱ期	2024年12月2日(月)～12月6日(金)必着	12月14日(土)	12月19日(木)	12月20日(金)～12月26日(木)

※筆記試験を行う学科は10月26日（土）に試験を実施します。

【出願から選考結果通知までの流れ】

1. 事前準備

・本募集要項で、出願期間や出願に必要な書類等を確認してください。
・調査書等出願書類を揃えてください。（調査書等は発行まで時間がかかる場合がありますので、高等学校等発行機関へ確認してください。）
・インターネット出願に必要な環境やデータ等を確認のうえ、準備してください。

2. 出願

・インターネット出願の流れ（P10～）をご確認ください。顔写真の登録、入学検定料の納入も同サイトで行います。
・インターネット出願サイトから「志願票」「宛名ラベル」を印刷してください。
・本学ウェブサイトから「志願理由書」「活動報告書・学修計画書」を印刷し、黒のボールペンで記入してください。さらに、志願学科により提出課題様式の印刷も必要です。

※音楽科へ出願の場合は、音楽科専門試験に関わる書類も同封してください。
※出願後に志願学科を変更することはできません。

3. 出願書類の郵送（Ⅰ期：10月3日必着/Ⅱ期：12月6日必着）

・市販の角2封筒に「宛名ラベル」を貼り、出願に必要な書類を封入してください。
・郵便局の窓口から、「速達・簡易書留」郵便で出願書類を郵送してください。
・本学窓口への持参は受け付けていません。

4. 選考日時の通知

・出願書類の受付期間終了後、本学より選考日時の通知を発送します。選考日の3日前までに届かない場合は、入試広報課までご連絡ください。
・「受験票」はインターネット出願「マイページ」から印刷し、選考日に持参してください。

5. 選考の実施

・選考方法は学科により異なります。詳細はP06をご確認ください。

6. 選考結果の通知

・選考結果を受験生全員に通知します。ウェブ合否発表（P12）は速報であり、正式な合否は本学から郵送される書類にて確認してください。

出願資格

次のいずれかに該当する女子で、合格の際には本学（志願学科）への入学が確実な方とします。

①高等学校もしくは中等教育学校を卒業した方及び2025年3月卒業見込みの方
②通常の課程による12年の学校教育を修了した方及び2025年3月修了見込みの方
③学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認められる方及び2025年3月31日までにこれに該当する見込みの方

出願期間

	インターネット出願期間	出願期間
Ⅰ期	2024年 9月19日（木）～2024年10月2日（水）	2024年 9月26日（木）～10月3日（木）必着
Ⅱ期	2024年11月25日（月）～2024年12月5日（木）	2024年12月 2日（月）～12月6日（金）必着

出願書類 （所定の様式は本学ウェブサイトからダウンロードしてください DL）

出願書類は、市販の角2サイズの封筒に入れ、封筒の表に宛名ラベルを貼り、必ず**速達・簡易書留**で郵送してください。事情により調査書等が提出できない場合は、入試広報課までご連絡ください。

書　類	注　意　事　項
• **志願票・宛名ラベル**	インターネット出願サイトで入学検定料の支払い完了後、マイページから「志願票・宛名ラベル」をダウンロードして印刷してください。
• **志願理由書** DL • **活動報告書・学修計画書** DL	本学ウェブサイトから所定の様式をダウンロードし、A4 判用紙の片面に印刷のうえ必ず本人が**自筆（黒のボールペン）**で記入してください。
• **資格取得を証明する書類のコピー**	英語検定、TOEIC、TOEFL、GTECスコア、漢字検定、日本語文章能力検定、簿記検定など、資格等を取得した場合は、その資格を証明できるものをA4判用紙の片面にコピーして提出してください。
• **調査書または出願資格を証明する書類**	•高等学校もしくは中等教育学校卒業者（見込み者）及び高等専門学校第3学年修了者（見込み者）の場合は「調査書」（出願日前3ヶ月以内に作成され、交付元で厳封したもの） •大学入学資格検定合格者の場合は、「合格成績証明書」 •高等学校卒業程度認定試験合格者の場合は、「合格成績証明書」、合格見込み者の場合は成績が記載された「合格見込成績証明書」 •外国において12年の課程を修了した方については「修了証明書」と「成績証明書」 ※上記に該当しない方は入試広報課へお問い合わせください
• **提出課題** DL （現代ビジネス学科、食品栄養学科、英文学科、音楽科を除く）	課題の内容はP7～8を参照してください。課題提出用所定様式は、本学ウェブサイトからダウンロードし、A4判用紙の片面に印刷してください。 ※心理行動科学科は手書き、PC作成のどちらでも可
• **音楽科専門試験にかかわる書類** （音楽科のみ） DL	音楽科に出願する方は、本学ウェブサイトから「音楽科専門試験曲目届出票」をダウンロードし、演奏する曲の楽譜のコピーを添付して提出してください（詳細はP19参照）。 作曲コースの提出課題については、P19を参照してください。

入学検定料 30,000円

いったん納入された検定料は、事由の如何にかかわらず返金いたしません

受験票について

出願書類の受付期間終了後、受験票発行の通知がメールで届きます。マイページから「受験票」をダウンロードして印刷し、選考日当日に持参してください。選考日の3日前になってもメールが届かない場合は、必ず入試広報課にお問い合わせください。
受験票は本学から郵送しません。

選考日程

Ⅰ期　2024年10月26日（土）※～10月27日（日）※筆記試験を行う学科は10月26日（土）に試験を実施します。
Ⅱ期　2024年12月14日（土）

受験生ごとに選考日時が異なりますので、出願締切後、郵送にて個別にお知らせします。選考日3日前までに選考日時の通知が届かない場合は、入試広報課までお問い合わせください。

選考方法

選考は志願理由書、活動報告書・学修計画書及び提出された課題や選考内容を総合的に評価し、調査書は参考程度に扱います。
教育学科と心理行動科学科は、表下（※）を読んで、選考日に資料を持参してください。

学　科	選　考　方　法
現代ビジネス学科	●書類選考 ●観光や地域産業にかかわるテーマについての論述試験（60分） ●グループ面接・グループディスカッション（30分） ・グループディスカッションのテーマは、選考日時の通知時にお知らせします。 ・グループディスカッションの際、事前に準備したメモや筆記用具の持ち込みを認めます。 ただし、メモはA4判用紙1枚にまとめてください（両面使用可）。なお、資料等の持ち込みは認めません。
教育学科（※） 幼児教育専攻 児童教育専攻 健康教育専攻	●書類選考 ●課題提出（自己推薦書） ●提出課題についてのプレゼンテーション（10分） ●面接（プレゼンテーションに関する質疑と面接で計20分程度） ・プレゼンテーションの際には、プレゼンテーション用資料以外のものを持ち込むことはできません。
食品栄養学科	●書類選考 ●化学や生物の基礎的内容に関する講義（60分）・講義ノートの整理（30分）、 講義内容に係る筆記試験（30分） ●面接（30分程度・口頭試問・プレゼンテーション含む） ・講義ノートは講義の際に配布します。
生活文化デザイン学科	●書類選考 ●課題提出 ●提出課題についてのプレゼンテーション（5分） ●面接（20分程度） ・面接は、提出した課題に関する質疑応答も含むため、説明用の資料（紙、パワーポイント等データ形式問わず）や作品等の持ち込みを認めます。提出課題のプレゼンテーションについては、紙資料もしくはパワーポイント等のデータの使用を認めます。パワーポイント等のデータを用いる場合は、データをPDFにしてUSBメモリに保存し持参してください（パソコンは本学で準備します）。なお、念のため、パワーポイントによる発表の場合もUSBメモリに保存したデータを紙に出力し持参してください。
日本文学科	●書類選考 ●課題提出 ●提出課題についてのプレゼンテーション（10分程度） ●面接（20分程度） ・面接は、提出した課題に関する質疑応答も含みます。プレゼンテーション及び面接では説明用の資料（提出課題のコピー等）や本等を持参しても構いません（パワーポイント等の電子データでの持参は認めません）。
英文学科	●書類選考 ●英文を読み、日本語及び英語による論述試験（60分） ●英会話及び英文の音読を含む面接（15分程度） ・論述試験の際、英和辞典持込可。ただし、電子辞書等は不可。
人間文化学科	●書類選考 ●課題提出 ●面接（30分程度） ・面接は、提出した課題に関する質疑応答も含むため、提出した課題に関する資料（提出課題のコピー及びメモ等）を持参してください。
心理行動科学科（※）	●書類選考 ●課題提出（自己推薦書） ●提出課題についてのプレゼンテーション（10分） ●面接（20分程度） ・プレゼンテーションの際には、プレゼンテーション用資料以外のものを持ち込むことはできませんが、発表メモを持ち込んでもかまいません。
音楽科	●書類選考 ●音楽科専門試験　　音楽科専門試験要項（P13参照） ●面接（10～15分程度）

（※）提出課題「自己推薦書」についてのプレゼンテーションと質疑応答は受験者が当日持参するプレゼンテーション用資料を用いておこないます。
選考の際は、原本をホワイトボードに掲示してそれを参照しながら 10 分間のプレゼンテーションをおこなってください。（10 分を経過した場合は途中であっても打ち切ります）。続いて、プレゼンテーションの内容に関する質疑応答等をおこないます。

作成要領
・A3判用紙の片面1枚にまとめる、表現の方法は自由（立体物を貼り付けること、指定様式の大きさを変えることは不可）
・原本1部と原本のコピー3部（受験番号と氏名を表面に記入）

【提出課題の内容及び作成方法】

出願に必要な提出課題のテーマ及び作成方法は以下のとおりです。
各学科とも提出課題は本学ウェブサイトからダウンロードした所定様式を用い、注意事項をよく読んで作成してください。
また、資料として用いた本や雑誌・新聞、ウェブサイト等がある場合は必ず出典を出典記入欄に明記してください。

学　科	課　題
教育学科 幼児教育専攻 児童教育専攻 健康教育専攻	以下の2点を踏まえ、「自己推薦書」を作成しなさい。 ①これまでにあなたが影響を受けた先生を挙げ、その方々からどのような影響を受けたか。 ②本学入学後に、どのようなことについて学びを深めたいと考えているか、それはなぜか。 （①と②合わせて1,000字以内）
生活文化デザイン学科	①家族、流通と消費、衣食住などの生活の問題 ②生活と地球環境、文化、社会との関わりについての問題 ③建築・インテリア・まちづくりなど生活の中のデザインに関する問題 上記の中からいずれかを選択し、あなたが関心を持つ事柄についてテーマを設定して具体的に論述し、それに対するあなた自身の考察、あるいは提案を示しなさい。（1,600字程度）
日本文学科	高校入学後に読んだ本のうち、日本語・日本文学あるいは日本文化など、日本文学科の専門的な学び（ただし資格関係は除く）に関わる分野で、あなたが特に感銘を受けた本を1冊選び、その本のどのようなところに感銘を受けたのか、その本からどのようなことを考えさせられたのか、大学進学後、日本文学科でどのようなことを学びたいのか、具体的に説明しなさい。（1,200字程度）
人間文化学科	次にあげたテーマの中から1つを選んで、それについて具体的に調べ、考えたことを述べなさい。 ①「歴史を学んで何の役に立つの？」と問われたら、あなたならどのように答えますか。また、学校で歴史を学ぶ意味は何だと思いますか。 ②○○について学ぶことにどんな意義があると考えますか。あなた自身の経験や具体的な出来事などに触れながら、あなたの考えを述べなさい。（○○に入れる語として、「異文化」、「アジア」、「ヨーロッパ」、「世界遺産」のいずれかを選び、選んだ語を明示すること。）（1,600字以内）
心理行動科学科	本学科の総合型選抜は、以下の（A）経験・実績と（B）意欲の両方を満たす方が出願できます。 （A）高校3年間において、心理学の学びにつながる諸活動（スポーツ、芸術、経済・経営、生徒会等の役員、ボランティア、アルバイト、その他）を継続的に行っていた方 （B）Aの活動を通して、人間の心理や行動について興味や疑問を持ち、それらを大学で心理学の観点から学びたい方 上記の要件を確認したうえで、次の3点について詳細に記した「自己推薦書」を作成しなさい。 ①スポーツ、芸術、経済・経営活動、生徒会等の役員、ボランティア、アルバイト、その他のいずれかについての経験・実績の具体的な内容。 ②本学科入学後に、①の経験に基づいてどのような学びにつなげていきたいと考えているか。 ③その他、アピールしたい点。 【対象となる活動の具体的なイメージ】 ○スポーツ活動の経験・実績に基づくイメージ • 高校ではチームスポーツの運動部に所属し、レギュラーとして活躍した。チームをチームとして機能させる重要性を強く感じたので、集団の協調に興味がある。 • 大学では新しいスポーツを行いたい。高校で行った競技を続ける人と辞めた人の違いをいろいろな視点で比較してみたい。 • 高校の運動部でマネジャーとして、選手の活動を支えてきた。マネジャーの役割について、心理的な側面から調べてみたい。 ○芸術活動の経験・実績に基づくイメージ • 中学高校と吹奏楽部でフルートを吹いているが、コンクールなどのステージであがってしまう経験をした。あがらないようにするにはどうすればよいのか調べてみたい。 • 写真部で展覧会などに出展しているが、写真ならではの表現について疑問をもっている。絵画と写真の表現の違いと印象の違いを比較してみたい。 • 書道部で活動する中で、字には書き手の性格が現れると感じた。手書き文字と性格の関係について心理学で研究されていると知り、深く学んでみたくなった。

学　科	課題・要件等
心理行動科学科	○経済・経営活動の経験・実績に基づくイメージ • 親戚が経営しているお店のホームページを作ったが、効果があるのかどうかがわからない。どうしたら効果の有無がわかり、どうしたら効果を上げられるのか勉強したい。 • 友人たちとフリーマーケットに出店をしてきた。何度も出店するうちに、売り上げのコツがわかってきた気がするが、それを心理学的に研究して検証してみたい。 • 高校の文化祭で実行委員を務めたが、来場者数や模擬店の売り上げと天候に関係があるように感じた。このような現象を統計的に分析する手法を学びたい。 ○生徒会等の役員の経験・実績に基づくイメージ • 生徒会の役員で忙しくなったことで、時間の使い方がうまくなったと言われる。忙しいときと暇なときとで人間の心理がどう変わるのか、それが行動に与える影響について勉強したい。 • 文化祭の役員を務め、プログラムのために広告取りをした。業種によって快く引き受けてくれるところと、そうでないところがある様な気がする。業種と広告の意識は関係があるのか、学びたい。 • 部活の会計担当を経験して、合宿などの多額なお金の管理を手伝っていた。大きなお金を扱うと、普段は大事に感じる数百円の価値が変わってしまう。お金の心理学について学びたい。 ○ボランティアの経験・実績に基づくイメージ • 発達障害の子どもと関わるボランティア活動を週1回程度、1年間続けてきた。その経験の中で、子どものためにも支援者の心理的サポートが重要だと感じたので、そういう勉強をしてみたい。 • 町内会の夏祭りに子どもの頃から関わっていて、近年は会場の警備を担当している。多くの人びとが集まる場所で安全にイベントを行う難しさを感じたので、人間の行動を学びたい。 • 地域清掃のボランティア活動に関わるようになった。これまでの活動で、ゴミが集まる場所には特徴があるように感じるが、それをきちんと分析して、ゴミのない社会を実現させたい。 ○アルバイトの経験・実績に基づくイメージ • 飲食店のアルバイト経験から、時間帯によってお客様の態度が違うように感じる。そのことについて心理学を学ぶことで科学的に解明してみたい。 • コンビニのアルバイト経験から、陳列する場所によって売れない商品が急に売れ始めたりすることを知った。場所だけで売上が変わってしまう人間の心理について学びたい。 • イベントスタッフのアルバイト経験から、群集の心理に興味を持った。ちょっとしたことで事故に繋がりかねない危険性があり、群集心理を安全に誘導する方法を研究したい。 ○その他の経験・実績に基づくイメージ • 多くのテレビ番組のクイズ大会に参加した。本を読んだりして新たな知識を記憶する難しさも、本番で思い出す難しさも実感させられた。記憶の心理学について学んでみたい。 • カルタ部で活動したが、分かっていても身体が動かないことがある。頭が動け！と命令するのに身体が動かないのはなぜか。どうしたら動くようになるのか。心理学的に学びたい。 ☒高校3年間継続的に行った活動に該当しない例 • 家業の製造業を手伝った。 • 勉強に打ち込んだ結果、成績が上がった。 • 高校3年間1日も休まず、遅刻もしなかった。 • 高校1年の夏に1ヵ月間ニュージーランドで語学研修を行った。 ※ただし、内容によっては該当する場合もあるので、出願前にオープンキャンパス等で学科教員に相談すること。 ※これらの内容は、「自己推薦書」の「3.その他、アピールしたい点」欄、または「活動報告書」に記載してかまいません。

【総合型選抜の評価のポイント】

学　科	選　考　方　法
現代ビジネス学科	P06で提示するテーマについて論述試験を行います。日頃から新聞や書籍などを読んで、地域産業や観光など日本における経済活動の課題を把握するとともに、その解決方法について考えておくと良いでしょう。さらに論述試験後には、グループ面接とグループディスカッションを行います。自分自身の考えを相手にわかりやすく伝える説明力と表現力を身につけておいてください。
教育学科 幼児教育専攻 児童教育専攻 健康教育専攻	P07で提示する内容をもとにした「自己推薦書」の作成を課題とし、その内容について、プレゼンテーションと質疑応答、ならびに面接を行います。それらを通して、プレゼンテーション能力のほか、志願理由・目的、大学での学修に必要な基礎力、人に関わる仕事を目指す者に求められる様々な能力や資質を確認します。
食品栄養学科	講義で学んだ内容を理解しながらポイントを筆記する力、講義内容を応用できる能力など、大学での学修に必要な基礎力を確認します。 また、面接では本学科を志願する理由について確認するとともに、食品栄養学科の教員が面接時に提起する健康に関する課題に対して、課題解決のための方法について自分の考えを説明してもらいます。思考力、判断力、課題解決能力、プレゼンテーション能力を評価します。日頃から、授業内容を的確・簡潔にノートにまとめる能力を養うよう努めると良いでしょう。 ※化学や生物の基礎的内容を理解しておきましょう。
生活文化デザイン学科	家族・ジェンダー・服飾など生活文化に関する事柄や、建築・インテリア・まちづくりなど生活環境に対する、受験生のみなさんの問題関心を確認します。具体的な提案や取り組みがあればなお良いです。また、提出課題についてプレゼンテーションを行ってもらいます。自分自身の考えをわかりやすく伝える能力、表現力を身につけておいてください。高校の授業やメディアから、生活やデザインに興味を持つようにして、何が問題なのか、解決にはどのような方法があるのか、意識すると良いでしょう。
日本文学科	日本語や日本の文学・文化などに関する知識や関心の度合い、熱意、学習意欲、およびコミュニケーション能力を評価します。事前提出課題については、これから大学で学ぼうとする人にふさわしいもの（高校進学後に読んだ本など）を選びましょう。当日は「私のおすすめ　この1冊」と題し、提出課題の内容に関するより詳細で具体的なプレゼンテーションをお願いします。プレゼンテーションの時間は10分あります。時間の許す限り、課題として取り上げた本のこと、またそれを読んだあなた自身のことを存分に語ってください（提出課題を丸暗記する必要はありません。プレゼンテーションではそれ以上のものを期待しています）。その後、プレゼンテーション内容や志望理由に関する質疑応答（面接）を行います。日頃から本をたくさん読んでおくこと、大学で何を学びたいのか明確にしておくことが大切です。
英文学科	英語力をつけるために努力したことや、英語に関する経験、意欲が評価のポイントとなります。面接では、英会話のやり取りができるよう、英語によるコミュニケーションの訓練に力を入れてください。また、高校の教科書レベルの英文の音読を日頃から練習しておきましょう。選考内容としては英文読解を含む論述試験も行います。英文を読み、自分の意見を英語で書く練習をすると良いでしょう。 ※英検2級程度の英語能力を有していることが望ましい。
人間文化学科	日本や世界の歴史、文化、社会に関する学問分野の学習意欲や、日本や国際社会が直面している諸問題を解決するための学習意欲を評価します。日頃から本を読んだり、新聞やニュースに触れておくことが大切です。面接では、提出課題に関する質疑応答や志願理由書、活動報告書・学修計画書に沿った内容の面接を行います。提出課題で取り組んだテーマについては、広く情報を集めておきましょう。
心理行動科学科	本学科が指定する高校時代の活動実績の詳細と、その経験を踏まえて入学後にどのようなことを学びたいかを記した自己推薦書と、それらの内容に基づいたプレゼンテーションを評価します。詳細については、オープンキャンパスに参加し、本学科の教員に事前にアドバイスを受けることを強くお勧めします。個々の生徒さんの経験と関心に基づいて、最適な自己推薦の流れについてアドバイスをさせていただきます。また、自己推薦書の内容についてはP07～08を参照してください。
音楽科	器楽コース、声楽コースについては、実技試験（専攻実技）で基礎的な能力を確認します。作曲コースについては、「和声課題」の他に、自作曲の「作品提出」または自作曲の「音源提出」の中からいずれか一つを選択し、受験します。各コース共に面接を行い、本学を志望した動機、大学での学修に必要な音楽における基礎的能力を確認します。日頃から意欲的に音楽と向き合うことを心がけましょう。

受験上の注意

持参するもの

全学科
・筆記用具(黒鉛筆またはシャープペンシル)、受験票、選考日通知書

教育学科（幼児教育専攻／児童教育専攻／健康教育専攻）、心理行動科学科
・プレゼンテーション用資料原本1部とコピー3部（受験番号と氏名を表面に記入）

英文学科　英和辞典（電子辞書等は不可）

合格発表

Ⅰ期　2024年11月 1日(金)13:30(予定)　　Ⅱ期　2024年12月19日(木)13:30(予定)

発表日当日、本人及び高等学校長宛てに速達郵便で「選考結果通知書」を発送します。
合否については、インターネットを利用した「ウェブ合否発表」(P12参照)を利用して確認することもできます。

入学手続

Ⅰ期　2024年11月 5日(火)～11月15日(金)　　Ⅱ期　2024年12月20日(金)～12月26日(木)

「選考結果通知書」に同封した納付書を使用し、上記の期間内に「入学時納付金（P21参考:2024年度）」を銀行窓口で一括納入してください。

ATM（現金自動預け払い機）は使用しないでください。

・ゆうちょ銀行からの振込みはできません。
入学手続の詳細については、「選考結果通知書」とともに送付する「入学手続要項」をご確認ください。

インターネット出願の流れ

STEP 1 事前準備

用意するもの

①出願登録環境

インターネットに接続可能なパソコン、スマートフォンまたはタブレット及び、用意した機器から接続できるプリンターを準備してください。プリンターが自宅にない場合、コンビニエンスストアのマルチコピー機でも印刷が可能です。

②出願サイトに登録する「メールアドレス」及び「顔写真」のデータファイル

普段から連絡の取りやすいメールアドレスを登録してください。顔写真データは、試験時の本人確認に使用するものを用意してください（正面を向いて上半身無帽、試験時間中に眼鏡をかける方は、眼鏡をかけた状態で撮影）。

③「調査書等提出書類」及び「郵送用封筒」

提出書類は入試ごとに異なる場合があります。募集要項等で必ず確認してください。

郵送用封筒は市販の「角2」サイズのものを使用してください。

STEP 2 出願サイトにアクセス

本学ウェブサイトに入学検定料払込期間中「インターネット出願サイト」へのリンクを設置します。

STEP 3 マイページを作成

①メールアドレスを登録

メールアドレスを画面の指示に従って入力し送信します。送られてきたメールのリンクから登録ページへアクセスし、「サイト利用規約」及び「個人情報の取扱い」に関する条項を確認・同意のうえ、パスワードを登録してください。マイページが作成されます。

②顔写真データ及び基本情報を登録　※JIS第一水準文字のみ入力可能です。

マイページにログイン後、顔写真データ及び基本情報（志願者名、生年月日、出身校等）を登録してください。

【写真データの登録手順】

①「ファイル選択」から顔写真データのファイルを選択してください。

・アップロード可能なファイル形式　⇒　JPEG、PNG、BMP、GIF形式

・アップロード可能なファイルサイズ　⇒　3MB以内

※推奨画像サイズは縦幅600ピクセル・横幅450ピクセル、縦横の比率4：3です。

②必要に応じて顔写真データを回転、移動、拡大、縮小して、切り抜き枠（青線）に合わせてください。

③「アップロード」ボタンをクリックして、顔写真データを登録してください。

STEP 4 出願内容を入力

①志望内容を入力

入試種別や志望する学科・専攻など必要項目を選択してください。

②情報を入力

基本情報のほか画面に表示される項目を入力してください。顔写真と基本情報を既に登録している場合は、その情報が表示されます。表示された情報を修正・変更することができます。

③出願内容を確認

ここまで入力した内容を確認します。入学検定料の支払い後は入力したデータの変更はできません。間違いの無いよう十分確認してください。

【次のポイントには特に注意してください】

・住所の番地等が正しく入力されている。

・高等学校の学科が正しく選択または入力されている。

STEP 5 入学検定料の支払い

①支払い方法を選択

入学検定料の支払いは以下のいずれかで行ってください。

クレジットカード／コンビニエンスストア／ペイジー（金融機関ATM／ネットバンキング）

※支払いには入学検定料のほか支払手数料が必要です。支払い方法によって手数料が異なります。

②入学検定料を支払う

・クレジットカード

支払い方法を選択する画面で必要な情報を入力してください。出願登録完了時に決済されます。

・コンビニエンスストア

出願登録完了画面で「お支払番号」等が画面及びメールで通知されます。選択したコンビニエンスストアで支払いをしてください。

・ペイジー（金融機関ATM／ネットバンキング）

出願登録完了画面で「お支払番号」等が画面及びメールで通知されます。選択した方法で支払いをしてください。

コンビニエンスストアまたはペイジーを選択した場合、支払い期限はお申込み翌々日の23：59までとなります。なお、出願期間最終日は当日の23：59までとなります。支払い期限を過ぎてしまった場合は、再度マイページから出願内容を登録してください。

支払い完了後、出願登録及び支払完了を通知するメールが届きますので、内容を確認してください。

STEP 6 出願内容を登録

入力した出願内容及び支払い方法を確認し、登録ボタンを押して出願内容を登録します。同時に「出願登録完了メール」が送信されます。検定料の支払い方法がコンビニエンスストアまたはペイジーの場合、「お支払番号」等が出願登録完了画面及び申込完了メールに表示されます。

STEP 7 出願書類を郵送

①志願票・宛名ラベルを印刷

入学検定料の支払い完了後、マイページから「志願票・宛名ラベル」をダウンロードして印刷してください。

②出願書類を郵送

宛名ラベルを市販の封筒（角2サイズ）に貼付し、必要書類を同封して必ず**速達・簡易書留**で郵送してください。

STEP 8 受験票を印刷

出願書類の受付期間終了後、受験票発行の通知がマイページで登録した出願者のメールアドレスにメールで届きます。マイページから「受験票」をダウンロードし印刷してください。選考日の3日前になっても通知メールが届かない場合は、必ず入試広報課にお問い合わせください。

受験票は本学から郵送しませんが、選考に必要な書類を別途郵送します。

ウェブ合否発表の利用方法

1 スマートフォン・パソコン・タブレット端末で下記 URL を入力するか、QR コードを読み取ってください。

https://go-pass.net/mche/mgu/

←QRコードリーダーで読み取ってください。
QRコードの読み取りについては、各端末の取扱説明書を確認するか、各端末の提供元に確認してください。（本学へのお問い合わせには応じかねます。）

2 トップ画面で表示内容を確認してください。

3 個人情報の取扱いについて内容を確認してください。

4 受験番号（6 桁）と生年月日（8 桁）を入力してください。

5 合否結果が表示されます。

注　意　事　項

- 当サービスでの発表は速報であり、正式な合否は大学から郵送される書類にて確認してください。
- サービス開始直後はアクセスが多くつながりにくい状態が予想されます。その場合は、しばらく時間を置いてからアクセスしてください。
- パソコンの性能やインターネットへの接続方法などで、表示に時間がかかる場合があります。
- 操作方法並びに合否の結果に関し、電話でのお問合せには応じかねます。
- パソコンのブラウザの設定によっては、画像のずれ・文字化けなどが発生する場合があります。

音楽科専門試験要項（Ⅰ期・Ⅱ期共通）

専攻実技

■器楽コース

ピアノ専攻

J. Haydn、W. A. Mozart、L. v. Beethovenの任意のソナタより
第1楽章または終楽章、あるいはロマン派以降の自由曲から1曲を選択し、演奏すること。
暗譜で演奏し、繰り返しは省略すること。

オルガン専攻

Ⓐ Ⓑのいずれかを選択し、受験すること。

Ⓐパイプオルガンで受験する場合

自由曲：1曲
暗譜の必要はない。また、手鍵盤のみの作品でもよい。

Ⓑピアノで受験する場合

J.S.Bach：平均律クラヴィーア曲集 第1巻、第2巻より1曲を選択し、プレリュード、フーガの両方を暗譜で演奏すること。

弦楽器〔ヴァイオリン・ヴィオラ〕専攻

ヴァイオリン専攻

(a)(b)いずれも暗譜で演奏すること。

(a)下記(b)の自由曲と同じ調の、3オクターヴの音階と分散和音（スラーをつけて演奏すること。スラーのつけ方は自由とする）。

(b)演奏時間3分程度以上の自由曲を演奏すること。
複数楽曲も可。無伴奏で演奏すること。繰り返しは省略すること。

ヴィオラ専攻

(a)(b)いずれも暗譜で演奏すること。
ヴィオラ専攻受験者はヴァイオリンでの受験も可。その場合は、ヴァイオリン専攻の課題曲(a)(b)を演奏すること。

(a)下記(b)の自由曲と同じ調の、3オクターヴの音階（スラーをつけて演奏すること。スラーのつけ方は自由とする）。

(b)演奏時間3分程度以上の自由曲を演奏すること。
複数楽曲も可。無伴奏で演奏すること。繰り返しは省略すること。

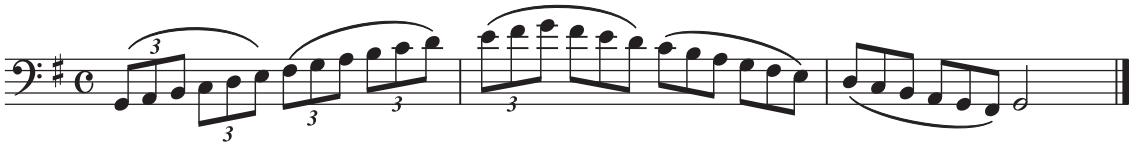
弦楽器〔チェロ〕専攻

演奏時間3分程度以上の自由曲を演奏すること。
複数楽曲も可。無伴奏で演奏すること。暗譜で演奏すること。繰り返しは省略すること。

弦楽器〔コントラバス〕専攻

(a) (b)いずれも暗譜で演奏すること。

(a)ト長調で2オクターヴの音階を以下の譜例の形で演奏すること。

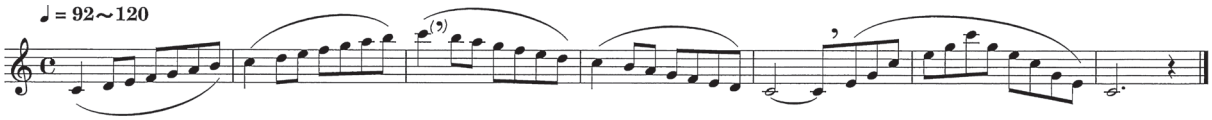


(b)演奏時間3分程度以上の自由曲を演奏すること。
複数楽曲も可。無伴奏で演奏すること。繰り返しは省略すること。

管楽器〔フルート〕専攻

(a) (b)を演奏すること。

(a)以下の譜例の形で音階(長音階と短音階)と分散和音を演奏すること(暗譜で演奏すること)。
長短全調の中より、当日指定する。
短調は和声的短音階で演奏すること。



(b)演奏時間3分程度以上の自由曲を演奏すること。
複数楽曲も可。無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。繰り返しは省略すること。

管楽器〔オーボエ〕専攻

(a) (b)を演奏すること。

(a) 2オクターヴの音階(長音階と短音階)をスラーで演奏すること(暗譜で演奏すること)。
長短全調の中より、当日指定する。短調は和声的短音階、旋律的短音階のどちらを演奏してもよい。
音域が高い場合は途中で折り返してもよい。

(b)演奏時間3分程度以上の自由曲を演奏すること。
複数楽曲も可。無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。繰り返しは省略すること。

管楽器〔クラリネット〕専攻

(a) (b)を演奏すること。

(a) Rolf Eichler: Scales for Clarinet 第1番(長音階と短音階)をスラーで演奏すること(暗譜で演奏すること)。
長短全調の中より、当日指定する。

(b)演奏時間3分程度以上の自由曲を演奏すること。
複数楽曲も可。無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。繰り返しは省略すること。

管楽器〔サクソフォーン〕専攻

(a) (b)を演奏すること。

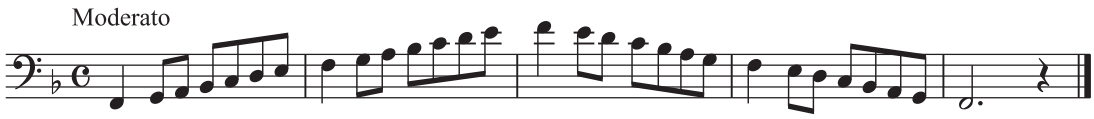
(a)須川展也編「サクソフォーンのためのトレーニングブック」(音楽之友社)の51～52ページより、音階(長音階と短音階)をスラーで演奏すること(暗譜で演奏すること)。
長短全調の中より、当日指定する。
短調は和声的短音階で演奏すること。繰り返しは省略すること。

(b)演奏時間3分程度以上の自由曲を演奏すること。
複数楽曲も可。無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。繰り返しは省略すること。

管楽器〔ファゴット〕専攻

(a)(b)を演奏すること。

(a)以下の譜例の形で音階(長音階と短音階)を演奏すること(暗譜で演奏すること)。
長短全調の中より、当日指定する。短調は和声的短音階、旋律的短音階のどちらを演奏してもよい。
〔譜例(F-Durの場合)〕

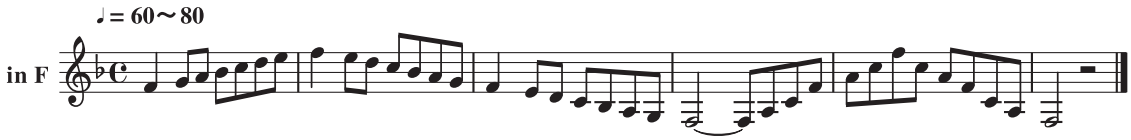


(b)演奏時間3分程度以上の自由曲を演奏すること。
複数楽曲も可。無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。繰り返しは省略すること。

管楽器〔ホルン〕専攻

(a)(b)を演奏すること。

(a)以下の譜例の形で音階(長音階と短音階)と分散和音を演奏すること(暗譜で演奏すること)。
長調　As-Dur、A-Dur、B-Dur、C-Dur　の中より、当日指定する。
短調　a-Moll、b-Moll、h-Moll、c-Moll　の中より、当日指定する。
短調は和声的短音階、旋律的短音階より、当日指定する。
〔譜例(実音B-Durの場合)〕

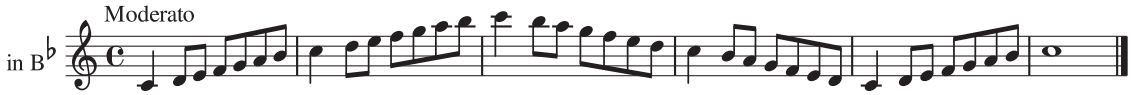


(b)演奏時間3分程度以上の自由曲を演奏すること。
複数楽曲も可。無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。繰り返しは省略すること。

管楽器〔トランペット〕専攻

(a)(b)を演奏すること。

(a)以下の譜例を参考にして、音階(長音階と短音階)を演奏すること(暗譜で演奏すること)。
F-Dur と d-Moll、B-Dur と g-Moll、Es-Dur と c-Moll　の中より、当日指定する。
短調は和声的短音階、旋律的短音階より、当日指定する。
音域が高い場合は途中で折り返してもよい。
〔譜例(実音B-Durの場合)〕

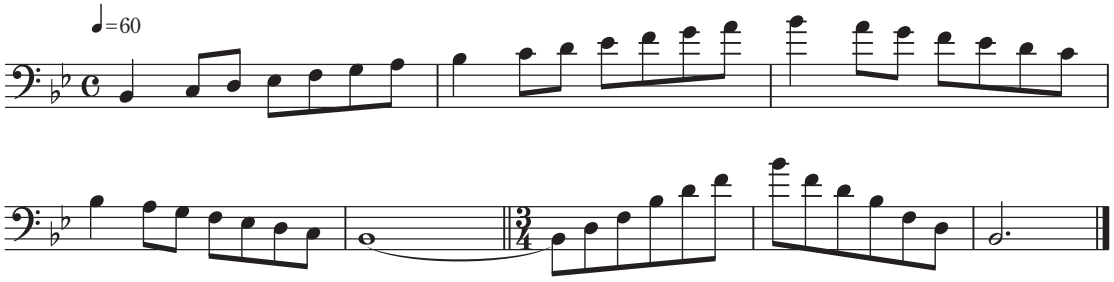


(b)演奏時間3分程度以上の自由曲を演奏すること。
複数楽曲も可。無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。繰り返しは省略すること。

管楽器〔トロンボーン〕専攻

(a)(b)を演奏すること。

(a)以下の譜例を参考にして、音階(長音階と短音階)と分散和音を演奏すること(暗譜で演奏すること)。
長調　B-Dur、A-Dur、G-Dur、F-Dur の中より、当日指定する。
短調　g-Moll、f-Moll の中より、当日指定する。
短調は旋律的短音階で演奏すること。
音域が高い場合は途中で折り返してもよい。
〔譜例(B-Durの場合)〕

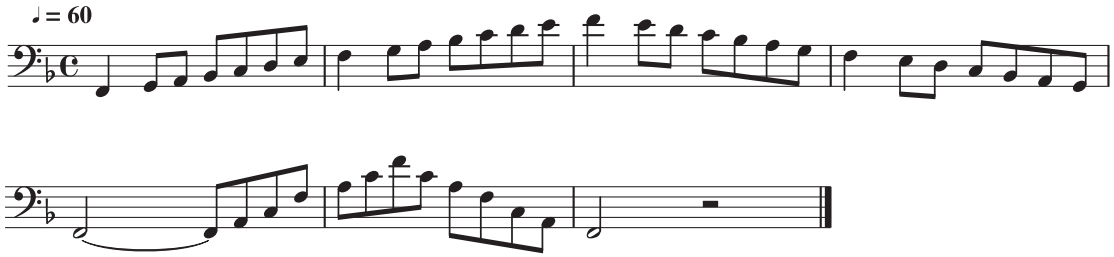


(b)演奏時間3分程度以上の自由曲を演奏すること。
複数楽曲も可。無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。繰り返しは省略すること。

管楽器〔ユーフォニアム〕専攻

(a)(b)を演奏すること。

(a)以下の譜例の形で音階(長音階と短音階)と分散和音を演奏すること(暗譜で演奏すること)。
F-Dur と d-Moll、B-Dur と g-Moll、Es-Dur と c-Moll、As-Dur と f-Moll、C-Dur と a-Moll、
G-Dur と e-Moll の中より、当日指定する。
短調は和声的短音階、旋律的短音階のいずれかとする。
〔譜例(F-Durの場合)〕

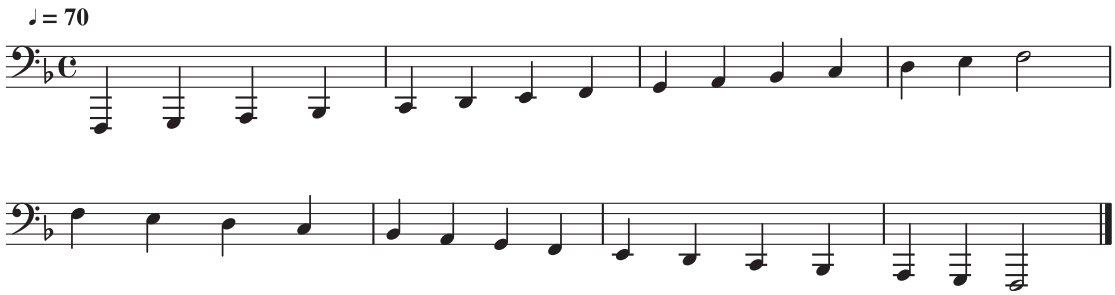


(b)演奏時間3分程度以上の自由曲を演奏すること。
複数楽曲も可。無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。繰り返しは省略すること。

管楽器〔チューバ〕専攻

(a)(b)を演奏すること。

(a)以下の譜例を参考にして音階(長音階と短音階)を演奏すること(暗譜で演奏すること)。
調号♯♭共に3つまでの調より、当日指定する。
短調は和声的短音階、旋律的短音階のいずれかとする。
音域が高い場合は途中で折り返してもよい。
〔譜例(F-Durの場合)〕



(b)演奏時間3分程度以上の自由曲を演奏すること。
複数楽曲も可。無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。繰り返しは省略すること。

打楽器専攻

Ⓐ Ⓑのいずれかを選択し、受験すること。

Ⓐマリンバのみで受験する場合
(a)(b)を演奏すること。

(a)調号♯♭2つまでの長音階、及び短音階から当日指定する。2オクターヴ上下行のかたちで2回演奏すること(暗譜で演奏すること)。
音型は自由とするが、短音階は1回目は和声的短音階、2回目は旋律的短音階で演奏すること。

(b)演奏時間3分程度以上の自由曲を演奏すること。
複数楽曲も可。無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。繰り返しは省略すること。

Ⓑ小太鼓とマリンバを用いて受験する場合
(a)(b)(c)を演奏すること。

(a)小太鼓による1つ打ち・2つ打ち・ロール　*pp* < *ff* > *pp*

(b)小太鼓
C.Wilcoxon : The All American Drummer 150 Rudimental Solos(Ludwig Music版)のNo.1及びNo.4を演奏すること。暗譜の必要はない。

(c)マリンバによる音階
調号♯♭2つまでの長音階、及び短音階から当日指定する。2オクターヴ上下行のかたちで2回演奏すること(暗譜で演奏すること)。
音型は自由とするが、短音階は1回目は和声的短音階、2回目は旋律的短音階で演奏すること。

■声楽コース

(a) (b)いずれも暗譜で演奏すること。

(a)コンコーネ：1曲
コンコーネ50番の11番から30番までの20曲の中から、1曲を選択し、母音「ア」で歌うこと。
出願時に曲番号、及び「高声用」「中声用」「低声用」のいずれを歌うかを届け出ること。

(b)自由曲：1曲
原語で歌うこと。

■作曲コース

以下のⒶ～Ⓒより一つを選択し、受験すること。
Ⓐ和声課題
転調を含まないバス課題1題。解答時間は60分。

Ⓑ作品提出
自作曲の楽譜を提出すること。
曲の長さは1分以上とする。
作品の形式・編成・ジャンルは自由とする。ただし、未発表のものに限る。

Ⓒ音源提出
自作曲を演奏した音源を提出すること。
曲の長さは1分以上とする。
作品の形式・編成・ジャンルは自由とする。ただし、未発表のものに限る。

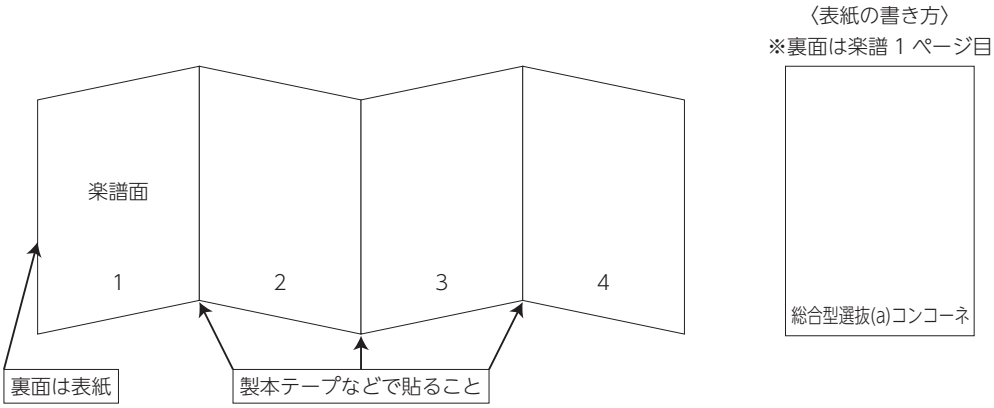
ⒷまたはⒸで受験する場合、面接時に、提出された作品について、簡単な質疑応答を行う。

出願時の注意

- 曲目届出票に必要事項を記入し、提出すること。
- 出願時に曲目届出票と演奏する曲全体の楽譜のコピーを添付すること（音階を除く）。ただし、ピアノ専攻については、コピーは楽譜冒頭1ページのみでよい。打楽器専攻のⒷについては、楽譜のコピーを提出する必要はない。印刷が明瞭であれば、コピーのサイズ等は自由でよい（製本の必要はない）。氏名は記入しないこと。
- 声楽コースに出願する場合は、伴奏用楽譜を添付すること。（以下の方法にしたがって製本すること。）

【声楽コースの伴奏用楽譜について】

①楽譜は1ページのサイズをA4判とし、コピーの鮮明な楽譜を提出すること。
②伴奏者が演奏しやすいよう、下記の図のように製本すること。
③提出する楽譜の1ページ目の裏面は表紙とし、氏名は記入せず、「総合型選抜（a）コンコーネ」等と記入すること。



【作曲コースの作品提出、音源提出について】

- 作曲コースをⒷで受験する場合は、自作曲の楽譜を提出すること。
  楽譜は鮮明な自筆、またはコンピュータ浄書で提出すること。
  楽譜の表紙には曲名を記入すること。氏名は記入せず、「総合型選抜　作曲コース　作品提出」と記入すること。
  コピーし、製本した楽譜を提出すること。
  提出された楽譜は返却しない。

- 作曲コースをⒸで受験する場合は、自作曲の音源を提出すること。
  ファイル形式はmp3とし、USB、または、Audio CDで提出すること。
  提出されたメディアは返却しない。

受験上の注意

- オルガン専攻をパイプオルガンで受験する場合、本学のパイプオルガンで練習することができる。
- 弦楽器専攻、管楽器専攻を受験する場合、楽器を持参すること。
- 弦楽器専攻（ヴァイオリン・ヴィオラ）の「ヴィオラ」を受験する場合、ヴァイオリンでの受験も可とする。
- 弦楽器専攻（コントラバス）を受験する場合、本学のコントラバスを使用できる。希望する場合は、曲目届出票の該当欄に○印をつけること。
- 管楽器専攻（サクソフォーン）を受験する場合、アルトサクソフォーンで受験すること。
- 管楽器専攻（トロンボーン）を受験する場合、テナートロンボーンまたはバストロンボーンでの受験を可とする。
- 打楽器専攻を受験する場合、本学のマリンバを使用すること。
- 打楽器専攻をⒷで受験する場合、小太鼓を持参すること。スタンドは本学のものを使用できる。やむを得ない理由で小太鼓を持参できない場合、本学の小太鼓を使用できる。希望する場合は、曲目届出票の該当欄に○印をつけること。
- 作曲コースをⒶで受験する場合、定規の使用を認める。

受験者の氏名表記について

本学では、常用漢字等、本学のシステム上で使用可能な文字種の範囲で選考日通知書等を作成しますので、ご了承ください。

受験時特別配慮について

本学に入学を志願する方で、身体に障がいや疾病その他の理由により、受験上の特別な配慮を必要とする場合は、出願前に必ず入試広報課にご相談の上、下記の通り申請してください。
ただし、希望の特別措置のすべてに対応できるとは限りません。

申請期限	総合型選抜**出願開始日の1ヶ月前まで Ⅰ期 2024年8月26日（月）／Ⅱ期 2024年11月2日（土）**
申請方法	下記の書類を入試広報課までお送りください。 ・特別配慮願い（本学所定／本学ウェブサイトからダウンロードできます） ・障がい・疾病の場合、状況がわかるもののコピー（医師の診断書など） ・高等学校の所見（高等学校在籍者のみ）
問い合わせ先	宮城学院女子大学　入試広報課（022-279-5837）

なお、出願締め切り後、不慮の事故等のために受験上の特別な配慮が生じた場合は、入試広報課に連絡の上、速やかに申請書類を提出してください。申請にあたって本学のキャンパス見学を希望する場合はご相談ください。

注意

- この申請内容は、受験上における特別配慮措置のために確認するものであり、試験の合否結果については一切関係しません。
- 修学上の配慮については、合格発表後にあらためてご相談ください。

入学前学習課題について

本学では、総合型選抜合格者及び学校推薦型選抜合格者に対して、大学入学後の学習にスムーズに適応していただけるよう、入学前の準備教育として学習課題を課します。詳細は合格発表後に通知します。
なお、音楽科においては、所定の学習課題に取り組むほか、入学までに基礎的な楽典の知識と視唱・聴音の能力を身につけられるよう積極的に学習してください。

「合格者の集い」開催について

本学では、主に総合型選抜・学校推薦型選抜等で合格された方を対象に、「合格者の集い」を開催します。日程等の詳細は合格発表後に別途通知します。

納付金

2025年度納付金に関しては「入学手続要項」に掲載いたします。
なお、2024年度の納付金は以下のとおりです。参考としてご覧ください。

【参考】2024年度納付金明細表

（単位：円）

科目		現代ビジネス学部	教育学部教育学科			生活科学部		学芸学部				
		現代ビジネス学科	幼児教育専攻	児童教育専攻	健康教育専攻	食品栄養学科	生活文化デザイン学科	日本文学科	英文学科	人間文化学科	心理行動科学科	音楽科
入学時納付金	入学金	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	330,000
	授業料	378,500	404,000	404,000	404,000	446,000	426,500	356,500	356,500	356,500	378,500	502,000
	演奏実技運営費											159,000
	実習料	15,000	6,000	6,000	6,000	8,500	20,000	12,000	12,000	12,000	30,000	7,500
	楽器使用料											17,500
	施設設備資金	95,000	95,000	95,000	95,000	103,000	102,000	91,500	91,500	91,500	95,000	126,500
	グループ研修費	0	13,000	3,000	3,000	2,300	1,500	2,000	4,000	12,000	16,500	2,000
	循環器等検査料	3,640	10,680	3,640	10,680	3,640	3,640	3,640	3,640	3,640	3,640	3,640
	大学後援会費	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
	学友会費	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500
	学会費	1,500	1,500	1,500	1,500	1,200	1,500	3,000	2,500	2,000	4,500	1,500
	学生災害掛金	3,300	3,300	3,300	3,300	3,370	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300
	計	**745,440**	**781,980**	**764,940**	**771,980**	**816,510**	**806,940**	**720,440**	**721,940**	**729,440**	**779,940**	**1,161,440**
後期納付金	授業料	378,500	404,000	404,000	404,000	446,000	426,500	356,500	356,500	356,500	378,500	502,000
	演奏実技運営費											159,000
	実習料	15,000	6,000	6,000	6,000	8,500			12,000			7,500
	楽器使用料											17,500
	施設設備資金	95,000	95,000	95,000	95,000	103,000	102,000	91,500	91,500	91,500	95,000	126,500
	大学後援会費	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
	計	**493,500**	**510,000**	**510,000**	**510,000**	**562,500**	**533,500**	**453,000**	**465,000**	**453,000**	**478,500**	**817,500**
年額合計		1,238,940	1,291,980	1,274,940	1,281,980	1,379,010	1,340,440	1,173,440	1,186,940	1,182,440	1,258,440	1,978,940

入学時納付金	第一次手続	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	330,000
	第二次手続	505,440	541,980	524,940	531,980	576,510	566,940	480,440	481,940	489,440	539,940	831,440
	合計（一括）	**745,440**	**781,980**	**764,940**	**771,980**	**816,510**	**806,940**	**720,440**	**721,940**	**729,440**	**779,940**	**1,161,440**
後期（10月）納付金		493,500	510,000	510,000	510,000	562,500	533,500	453,000	465,000	453,000	478,500	817,500
年額納付金合計		1,238,940	1,291,980	1,274,940	1,281,980	1,379,010	1,340,440	1,173,440	1,186,940	1,182,440	1,258,440	1,978,940

※2年次以降の納付金は、年額納付金合計から入学金を引いた金額が目安です。
※授業料等の納付金以外に、教科書代、資格取得に関わる実習費が別途必要になります。

受験生ならびに保護者の皆様へ（個人情報保護について）

入学志願票および出願書類に記載された個人情報は、入学試験、募集活動に関する個人を特定しない統計の基礎データ、本学からのご連絡、入学後の学籍管理等教育運営に使用します。
なお、個人情報を使用する際は取り扱いに十分注意し、目的以外には一切使用いたしません。

出願書類送付・問い合わせ先

〒981-8557　仙台市青葉区桜ヶ丘九丁目1番1号

宮城学院女子大学

入 試 広 報 課

https://www.mgu.ac.jp/
E-mail:nyushi@mgu.ac.jp
TEL.022(279)5837
FAX.022(279)5978

2024年6月